

安全データシート

作成日：2021年09月10日

1. 化学品及び会社情報

製品名 : 硝酸タリウム (I)
会社名 : チカモチ純薬株式会社
住 所 : 大阪市北区大淀南1-9-16 (山彦ビル)
担当部門 : 営業部門
電話番号 : 06-6453-2062
FAX番号 : 06-6453-2063

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物質又は混合物の分類

酸化性固体	区分2
急性毒性(経口)	区分2
皮膚腐食性/刺激性	区分1 A
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
特定標的臓器毒性(単回暴露)	区分1, 区分2 区分1 神経系, 呼吸器系, 心臓血管系 区分2 腎臓, 肝臓
特定標的臓器毒性(反復暴露)	区分1, 区分2 区分1 神経系, 皮膚, 精巣 区分2 心臓血管系
水生環境有害性(急性)	区分2
水生環境有害性(長期間)	区分2

絵表示



注意喚起語

危険

危険有害性情報

火災助長のおそれ: 酸化性物質

重篤な皮膚やけど・眼の損傷を起こす

重篤な眼の損傷をおこす

飲み込むと生命に危険

水生生物に毒性

長期的影響により水生生物に毒性

以下の臓器に障害を生じる: 神経系, 呼吸器系, 心臓血管系

以下の器官を損傷するおそれがある: 腎臓, 肝臓

長期暴露又は反復暴露により以下の臓器に障害を生じる: 神経系, 皮膚, 精巣

長期暴露又は反復暴露により以下の臓器に障害を生じるおそれ: 心臓血管系

安全対策

- ・ 取扱い後には顔や手など、ばく露した皮膚を洗う。
- ・ この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。
- ・ 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
- ・ 保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
- ・ 環境に放出しないこと。
- ・ 熱、火花、裸火、熱い面から離して保管すること-禁煙。
- ・ 衣服/可燃物を避けて保存/保管する。
- ・ 可燃物との混合を避ける予防措置をすること。

応急措置

- ・ 眼に入った場合、数分間目を付けて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。
- ・ ただちに医師に連絡すること。
- ・ 皮膚または髪に付着した場合、汚染されたすべての衣服をすぐに脱ぎ、水やシャワーで皮膚を洗うこと。
- ・ 再使用の前に汚染された衣服を洗う。
- ・ 吸入した場合、新鮮な空気のある場所に移動させ、呼吸が楽な姿勢で休憩させる。
- ・ 飲み込んだ場合、すぐに医師に連絡してください。
- ・ 口をすすぐ。
- ・ 無理に吐かせないこと。
- ・ 火災の場合: 消火には、二酸化炭素、粉末消火剤、フォームを使用する。
- ・ 漏出物を集めること。

保管 ・ 施錠して保管。

廃棄 ・ 内容物および容器は承認された廃棄物処理場に廃棄すること。

その他 ・ ほかの危険有害性 情報なし

3. 組成及び成分情報

純物質もしくは混合物	単一物質
化学式	TiNO ₃
化学名	硝酸タリウム(I)
重量パーセント	99.9
分子量	266.39
化審法官報公示番号	(1)-1170
安衛法官報公示番号	N/A
CAS番号	10102-45-1
不純物または安定化添加剤	非該当

4. 応急措置

吸入した場合

新鮮な空気のある場所に移すこと。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合

すぐに石鹼と大量の水で洗浄すること。症状が続く場合には、医師に連絡すること。

眼に入った場合

眼に入った場合、数分間目を閉じて洗浄する。もしコンタクトを装着していて、容易に取り外せるなら、取り外す。その後も洗浄を続ける。直ちに医師の手当てを受ける必要がある。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。意識のない人の口には何も与えないこと。ただちに医師に連絡すること。医師の指示がない場合には、無理に吐かせないこと。

応急処置をする者の保護 個人用保護具を着用すること。

5. 火災時の措置

消火剤	水スプレー(水噴霧), 二酸化炭素(CO ₂), 砂
使ってはならない消火剤	利用可能な情報はない
特有の消火方法	利用可能な情報はない
火災時の特有危険有害性	熱分解は刺激性で有毒なガスと蒸気を放出することがある。

消火を行なう者の保護 自給式呼吸装置と保護衣を着用すること。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立ち入りを禁止する。作業の際には適切な保護具を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、ガスを吸入しないようにする。風上から作業して、風下の人を待避させる。

環境に対する注意事項

漏出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。
汚染された排水が適切に処理されずに環境へ排出しないように注意する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

乾燥砂、土、おがくず、ウエス等に吸収させて、密閉できる空容器に回収する。
水上に流出した製品は、吸収材を浸して吸収する。

回収、中和 利用可能な情報はない。

二次災害の防止策 環境規制に従って汚染された物体および場所をよく洗浄する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 酸性物質との接触を避ける。可燃物及び還元剤との接触を避ける。
局所排気装置を使用すること。

注意事項 容器を転倒させ落下させ衝撃を与え又は引きずる等の粗暴な扱いをしない。漏れ、溢れ、飛散などしないようにし、みだりに粉塵や蒸気を発生させない。取扱い後は、手、顔等をよく洗い、うがいをする。
使用後は容器を密閉する。指定された場所以外では飲食、喫煙をしてはならない。

安全取扱注意事項 皮膚、眼、衣服との接触を避け、個人用保護具を着用すること。

保管

安全な保管条件 保管条件 容器は遮光し、換気のよいなるべく涼しい場所に密閉して保管する。施錠して保管。

安全な容器包装材料 ガラス

混触禁止物質 有機物、可燃物

8. ばく露防止及び保護措置

設備対策

屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、または局所排気装置を設置する。

取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い・洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示する。

ばく露限界

日本産業衛生学会	N/A
管理濃度 作業環境評価基準	N/A
米国産業衛生専門家会議(ACGIH)	TWA: 0.02 mg/m ³ TI inhalable fraction Skin

保護具

呼吸器用保護具	防塵マスク
手の保護具	保護手袋
眼の保護具	側板付き保護眼鏡(必要によりゴーグル型または全面保護眼鏡)
皮膚及び身体の保護具	長袖作業衣, 保護長靴

適切な衛生対策 産業衛生および安全の基準に基づいて取り扱う。

9. 物理的及び化学的性質

形状

色	白色
性状	結晶～結晶性粉末
臭い	データなし
pH	データなし
融点・凝固点	206 ° C
沸点, 初留点及び沸騰範囲	430 ° C
引火点	データなし
蒸発速度	データなし
燃焼性(固体、ガス)	データなし
燃焼又は爆発範囲	上限: データなし
下限: データなし	
蒸気圧	データなし
蒸気密度	データなし
比重・密度	5.55
溶解性	水: 溶ける。
エタノール: ほとんど溶けない。	
n-オクタノール/水分配係数	データなし
自然発火温度	データなし

分解温度	データなし
粘度(粘性率)	データなし
動粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

安定性

安定性 光により変質するおそれがある。

反応性 データなし

危険有害反応可能性 通常の処理ではなし。

避けるべき条件 高温と直射日光

混触危険物質 有機物、可燃物

危険有害な分解生成物 窒素酸化物(NOx), 金属酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性 急性毒性(経口) [日本公表根拠データ]
rat LD50 = 15 mg/kg (RTECS, 2004)

局所効果 皮膚腐食性・刺激性 [日本公表根拠データ]
ヒト：皮膚腐食性 (HSDB, 2006)
※安全面から、区分1Aとした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性 [日本公表根拠データ]
ヒト：眼腐食性 (HSDB, 2006)

感作性 データなし 生殖細胞変異原性 データなし

発がん性 EPA-グループD; ヒト発がん性に分類できない(1986)

催奇形性 データなし

生殖毒性 データなし

短期ばく露による即時影響、長期ばく露による遅延/慢性影響

特定標的臓器毒性

特定標的臓器毒性(単回ばく露) [区分1] [日本公表根拠データ]
神経系、呼吸器、心血管系 (HSDB, 2005)
[区分2] [日本公表根拠データ]
腎臓、肝臓 (HSDB, 2005)

特定標的臓器毒性(反復ばく露) [区分1] [日本公表根拠データ]

神経系、皮膚、精巢（ATSDR, 1992）
 [区分2] [日本公表根拠データ]
 心臓血管系（ATSDR, 1992）
 吸引性呼吸器有害性 データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

藻類/水生植物

N/A

魚

N/A

甲殻類

LC50: Daphnia magna 1142ug/L 24 h

その他のデータ

水生環境有害性(急性)分類根拠

甲殻類(オオミジンコ)の24時間 LC50=1142
 μg/L(AQUIRE, 2003)から、区分2とした。

水生環境有害性(慢性)分類根拠

急性毒性が区分2、金属化合物であり水中での
 挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分2とし

た。

残留性・分解性

利用可能な情報はない

生体蓄積性

利用可能な情報はない

土壤中の移動性

利用可能な情報はない

オゾン層への有害性

利用可能な情報はない

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要があ
 る。

汚染容器及び包装

廃棄は地域、国、現地の適切な法律、規制に則る必要があ
 る。

14. 輸送上の注意

ADR/RID(陸上)

国連番号

UN2727

品名

硝酸タリウム

国連分類

6.1

副次危険性

5.1

容器等級

II

海洋汚染物質

該当

IMDG(海上)

国連番号	UN2727	
品名	硝酸タリウム	
国連分類	6.1	
副次危険性	5.1, P	
容器等級	II	
海洋汚染物質	該当	
MARPOL73/78やIBCコードに則ったバルクの輸送		利用可能な情報はない

IATA(航空)

国連番号	UN2727
品名	硝酸タリウム
国連分類	6.1
副次危険性	5.1
容器等級	II
環境有害物質	該当

15. 適用法令

国際インベントリー	EINECS/ELINCS: 収載、 TSCA: 収載
-----------	--------------------------------

国内法規

消防法	危険物第1類(酸化性固体)、 硝酸塩類(第1種酸化性固体、指定数量50kg)
毒物及び劇物取締法	劇物 包装等級2
労働安全衛生法	名称等を表示すべき危険物及び有害物(法57条、施行令第18条) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)No.335 危険物・酸化性の物(施行令別表第1第3号)
危険物船舶運送及び貯蔵規則	毒物類・毒物(危規則第3条危険物告示別表第1)
航空法	毒物類・毒物(施行規則第194条危険物告示別表第1)
PRTR法	非該当
水質汚濁防止法	有害物質(法第2条、施行令第2条、排水基準を定める省令第1条)
輸出貿易管理令	非該当
大気汚染防止法	有害大気汚染物質

16. その他の情報

引用文献および参照ホームページ等

NITE: 独立行政法人製品評価技術基盤機構 <http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html>

IATA危険物規則書

RTECS: Registry of Toxic Effects of Chemical Substances

中央労働災害防止協会 GHSモデルSDS情報

有機合成化学辞典（社）有機合成化学協会講談社サイエンティフィック

化学大辞典共立出版

コメント

この安全データシート(SDS)は、JISZ7253:2012に準じており、記載されている内容は、発行時点において、入手可能な情報・データに基づいて作成しています。運搬・開封から廃棄に至るまで、安全を最優先に、ご自身の責任においてご使用下さい。また、ここでの注意事項は通常の取扱い方をすることを前提に記載しており、他の製品と混ぜ合わすなどの特殊な取扱い方法は想定しておりません。その際は、使用環境に適した安全対策を自ら実施し、安全確保の上、ご利用下さい。なお、全ての製品には、未知の危険性を有する可能性があります。新たな知見が得られた時は、許可無く変更する場合があります。また、物性値や危険有害性情報などは、弊社製品規格書等とは異なることもあります。いかなる保証をなすものでもありません。